

# 会議録

日時	令和7年7月15日(火)14:00~16:30
場所	総合文化センター 視聴覚室
件名	令和7年度 第3回社会教育委員会(臨時会)
出席者	社会教育委員:小栗正敏、加藤一哉、湯原定雄、安藤裕子、浅沼克郎、伊藤孝一、岩島留美子、滝川直樹 事務局:加納素介(中央公民館長)、清水芳樹(生涯学習課)
議題	<p><b>1 挨拶(代表)</b> 代表より開会のあいさつ。</p> <p><b>2 研修「アンケートの分析」</b> (1)事務局より、アンケートのねらい及び結果の説明。 (2)事務局より、研究調査の視点について説明。 ①アンケートから得たアイデアや成果を一般化する。 ②現状を踏まえながらも、可能な範囲で継続しやすい方法を探る。 ③学校や地域の困り感やズレを共有し、持続可能な取り組みを目指す。 ④子どもたちの成長と地域への愛着など真に目指すべき姿を共有し、課題を改善できる方法が示せる提言を目指す。 (3)A・B2つのグループに分かれ、アンケート結果から読み取れることを出し合う。 Aグループ:加藤、湯原、岩島、滝川 Bグループ:伊藤、小栗、安藤、浅沼 (4)各グループで協議した内容を発表する。 Aグループから: ①目指す子ども像について、CSメンバーなどにはよく共通理解されているが、それ以外の人たちについては弱い。 ②行った活動に対して、振り返る(評価する)部分に弱さがあるのでは。 ③広報活動について、さらに工夫ができるのではないか。 Bグループから: ①目指す子ども像の共通理解について、やはり弱さを感じる。 ②地域によっては、アンケートなどで振り返りを行っているところもある。 ③活動の狙いや評価基準を明確にすることが大事では。</p> <p><b>3 事務連絡</b> (1)今後の活動について ・検討したい内容について、次回までに各々で考えていただく。 ・令和7年度東濃地区社会教育振興協議会研修会と、令和7年度岐阜県社会教育推進大会について確認。</p>

#### 4 閉会の言葉

(次回 令和7年8月21日(木)13時から(R7年度東濃地区社会教育振興協議会研修会)※第4回定例会を兼ねる)